

同上農	養子	成瀬	廉
東京市麻布區本村町壹番地	明治貳拾參年六月貳拾七日生	右實父	成瀬太郎 次男
スル家ノ戸主	大正七年於貳月拾七日	養子廉ノ復籍	右實母亡成瀬き子
現住所	成瀬松次郎印	養父	成瀬清久
本籍	印シ養子廉同理由ニ付自ら署名致候	養母	成瀬秀子母印
現住所	廣島縣佐伯郡石内村字権毛	養子	成瀬廉
本籍	貳千八百四番地	證人	米山 勉
現住所	東京府豐多摩郡濱谷村中濱	證人	田口 弘
在サンバウロ	谷四百貳拾七番地	明治貳拾壹年貳月拾八日生	明治貳拾五年拾壹月拾日生
總領事	伯國サンバウロ市ビラビ	チングイ街貳拾壹番番	高岡專太郎
マレータの注意	新開拓地又は流行地或は新たに附近で流行出した場合は危険は目前に迫つてゐる踏跡してゐられない、斯んな機会には前回述べた注意を守る	◆キーナ内服豫防法	醫師 高岡專太郎
(1)	こ同時に直ちに効果ある内服豫防法を行ふ必要がある。其方法は、鹽酸キニーナ二〇・セントグラムを毎朝一回に服用する、之れを流行期節間連續して行ふ、此法は分量が少ないので胃腸を損する事なく事實上大量を用いた時も同様の効果がある、現に此法を實行して好成績を得た米作地もある程ですから各人獎勵し合ふか、誠は重立つた人の力では非實質		

行する必要がある。施行する期間は主に流行期の十一月から翌年三四月頃まであるが、當時の状況次第で早めたり或は延長したり臨機に酌して行ふ可である。次に治療法を述べる前に参考迄にマレータの微候の概略を、元々マレータ原虫は一つだけではない、それに由つて三日熱、四日熱、熱帶熱等の三種ある。マレータの再發或は前回の二つは良性で後のは悪性である。有毒の蚊に刺されると早くて四日大概二週間位経過つてから熱病氣が初まる。此期間を潜伏期と云ふ、人々の身體の強弱などで期間は一様でない。

最初は悪寒がする、堪らなく戦慄が来る、それが漸く済んだかと思ふと今度は身體が熱つて来る、高熱が出る、時には其爲めに夢中状態に陥る事もある、これに續いて非常に非常によく、時には前微なしに突然初まる場合ある。

最初は悪寒がする、堪らなく戦慄が来る、それが漸く済んだかと思ふと今度は身體が熱つて来る、高熱が出る、時には其爲めに夢中状態に陥る事もある、これに續いて非常に非常に正常化する殆んど湧き出る様に、そして甚しく疲労を感じる、遂にグッタリして熟睡に入るのが普通である。

以上の状態を割合今まで一日隔き或は二日隔きには毎日繰り返へしてやる、極く悪性的者は赤痢見たいな又は脳膜炎の様な症状で忽ち死亡する恐いものも稀にある。

慢性マレータは初まりの治療當を得ぬか、或は充分でなかつた場合に出来る、つまり病氣の種子が残つた爲めである、慢性になるほど度陶器にヒ寄つたと同様の身體になる、要心が肝腎です。

◆マレータの治療法

なんでもマレータが始まつたと思つたら即座に鹽酸キニーナ一二センチグラムを服用させ、續いて二時間毎に量を五回服用せる、つまり八時間内五回に全量一グラムを與へる、之れを再び發作が來なくなる迄續け

後の要心の爲め前同様の分量と服用方法で三日連續して服用し後三日

井	利	吉	支	出	一金一ミル	同	武	七
田	龜	龜	金	百二十五ミル	○ビラボン・フィン・駒ヶ嶺	眞	城	翁
堂	龜	松	利	百四コントス	一ミル	副	鈴	長助
比	久	孟	作	二百三十七ミル	五百レース	有	永角	太郎
城	福	仁	吉	金四百四十四ミル	五百レース	中	星猪之	高田仙太郎
嶺	保	三	念	總計金四百四十四ミル	五百レース	綾	木田良	作野常
城	次	郎	念	二百參十七ミル	五百レース	部	藤孝	江藤
井	利	吉	作	金一百四十九ミル	五百レース	重岡吉三	高田市太郎	高田市太郎
田	龜	龜	吉	一金七十五ミル	五百レース	坂口初太郎	浦川徳次郎	池田省吾
堂	龜	松	念	小計金一百四十九ミル	五百レース	岩淵彪	重岡順士	村上倉
比	久	孟	信	總計金一百四十九ミル	五百レース	菅野勝	高田順士	伊藤一郎
城	福	仁	念	二百參十七ミル	五百レース	吳屋賀喜	次郎	吉田吉三郎
嶺	保	三	良	金一百四十九ミル	五百レース	宇良加那	次郎	吉田吉三郎
城	次	郎	吉	一金七十五ミル	五百レース	道浩	次郎	吉田吉三郎
井	利	吉	吉	一金一百四十九ミル	五百レース	田口道浩	次郎	吉田吉三郎
田	龜	龜	吉	一金七十五ミル	五百レース	布拉ジル時報社	次郎	吉田吉三郎
堂	龜	松	吉	二百三十七ミル	五百レース	五百レース	次郎	吉田吉三郎

CASA DA LAVOURA
ANOR GARCIA COMP.
NEGOCIANTE

Fazendas Aimarinhos Seccos e Molhados
Compram e Vendem Café e Cereaes

NOROESTE BIRIGUY

弊店には日本人諸君の
便を計る爲め今回日本
人を雇ひ入れ日本人諸
君には特別の安價を以
つて販賣仕り候
貸馬車安價にて御貸し
可申候
ビリグイ町にて
アノル、
ガルシヤ商店

五十年後の日本

◎日本近信

▲人口増加は年に七十萬
▲米の產出が之に伴ふか
東京農科大學長 古庄由直氏談
米作は今日で段々改良されて年々
平均約五千三萬石で
▲十年前に比較

する九百萬石ほど殖たことになる
これは勿論統計から出た数字で必ず
しも眞相を語つてゐないが品種の改
良や耕地整理による土地の改良及び
耕地の擴張肥料の使用栽培上の改良
等によつて收穫が著しく増加した
ことは事實であるそれで今日では因
作の場合を除き平年作には内地産の
米を約六十萬石の臺灣移入米百萬石
乃至二百萬石の朝鮮移入米を以て
大體

▲國民の需用を
充たすことが出来る例の外米も大正
四年から昨年までは毎年平均約四十
萬石も輸入されてゐるが其の代り日
本米も毎年平均六十四萬石輸出さ
れてゐる現在は右の様な状況にある
が毎年人口六七十萬づつ増加する日
本の将来に向つて米の増加がこれに
伴ふや否やが問題である米の消費は
主に食糧であるが其の一部は酒と菓
子の製造にも使はれる

▲酒に三百萬石
菓子其他に約百萬石爾う云ふものも
入れて米の一年の消費量は先づ一人
一石と云ふ勘定になる夫であるか
ら米の生産が年々六七十萬石以上増
加しなければ追ひかねが各方面の
努力によつて其處まで行けるかどう
なり朝鮮の農業はまだ幼稚である
から五割や六割の増加をするのは
困難でないから

▲朝鮮に於ける
人口増加も考へに入れて四百萬石位
内地に移入することは誠に容易である
同じ理由で臺灣から二百萬石位入
れられるこれを合計するごとく七千六
百振られ名残を惜まれたり本船の豊後

万石となる現在の耕地面積でこれだ
けの供給が出来る之に加ふるに内地
及領土地の開拓るべき土地から生
産するものは信するに足る計算によ
つて千六百萬石となるで五十年後
には九千二百萬石となる即ち人口九
千二百萬を養ふに足るが現在の

△人口増加率で一千二百萬人で
なくて一億以上になるから幾分か足
進めば五十年後には九千二百萬人で
即ち千人に付て十三人と云ふ割合で
千二百萬を養ふに足るが現在の

△何事の避難なるやを解するに苦

しみしが果然十二日より大暴風雨

けの供給が出来る之に加ふるに内地
及領土地の開拓るべき土地から生
産するものは信するに足る計算によ
つて千六百萬石となるで五十年後
には九千二百萬石となる即ち人口九
千二百萬を養ふに足るが現在の

△何事の避難なるやを解するに苦

